

2020年3月期 決算補足説明資料

住

Infrastructure

2020年5月21日
株式会社トプコン

医

Healthcare

食

Agriculture

2020年3月期 決算補足説明資料

I. 2020年3月期 決算報告

II. 今後の見通しについて

III. ポストコロナを見据えた事業別注力事項

IV. 参考資料

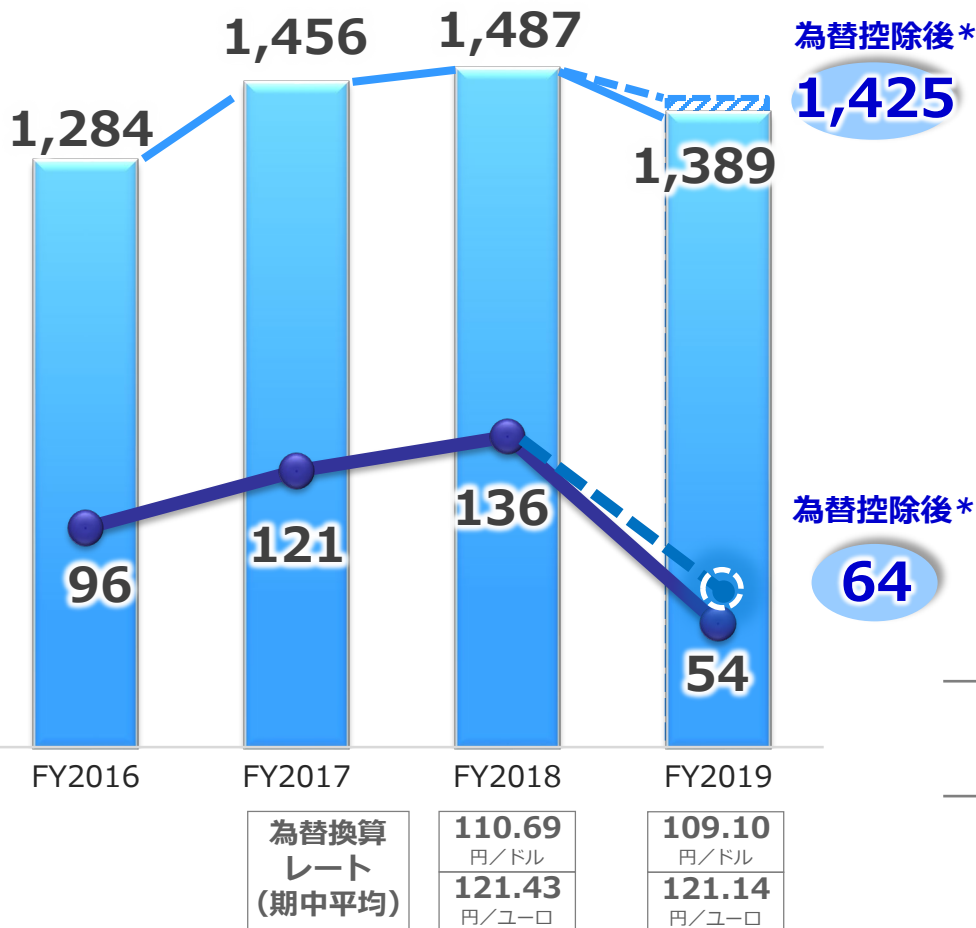
I. 2020年3月期 決算報告

I-1. 2020年3月期 決算報告

I-2. 事業別の状況

FY2019 決算概要

■ 売上高 ▨ 為替控除後売上高 (単位：億円)
● 営業利益 ● 為替控除後営業利益



・ 減収・減益

通期実績 (前年度比)

売上高 1,389億円 (△7%)

営業利益 54億円 (△60%)

・ 4Qに新型コロナ影響甚大

	4Q実績	コロナ影響額	コロナ控除後	公表値
売上高	381	△81	462	463
営業利益 (営業利益率)	23 (6.0%)	△45	68	69 (15.0%)

(単位：億円)

*為替控除後：

2019年度実績を前年同期の為替レートを用いた換算値

FY2019 実績 [連結]

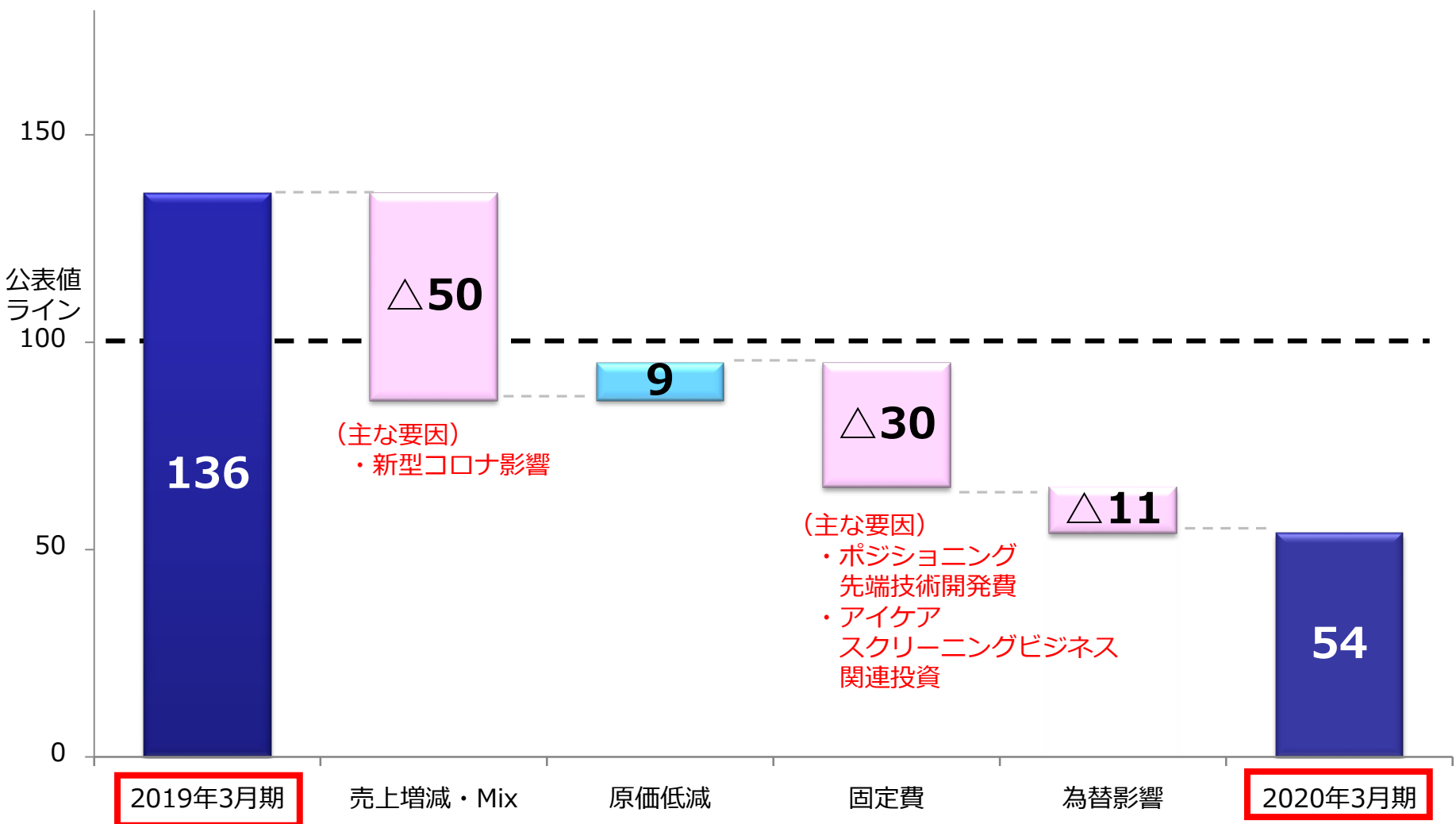
	FY2018	FY2019					1月31日 公表値
		通期実績	前年度比	%	為替控除後	%	
							(単位：百万円)
売上高	148,688	138,916	△9,772	△7%	142,505	△4%	147,000
売上総利益 (売上総利益率)	78,515 (52.8%)	72,632 (52.3%)	△5,883				
販管費	64,918	67,251	2,333				
営業利益 (営業利益率)	13,596 (9.1%)	5,381 (3.9%)	△8,215	△60%	6,449	△53%	10,000 (6.8%)
営業外損益	△2,099	△2,486	△387				
経常利益	11,497	2,895	△8,602	△75%	3,984	△65%	8,000
特別損益	△5,019	17	5,036				
税引前利益	6,478	2,912	△3,566				
純利益	6,548	935	△5,613	△86%	1,627	△75%	4,300
ROE	9.8%	1.4%					6.5%
年間配当	24円	24円					28円
配当性向	39%	271%					
為替換算レート (期中平均)	USD 110.69 円	109.10 円	△1.59 円				(4Q前提) レート) 110円
	EUR 128.43 円	121.14 円	△7.29 円				120円

FY2019 事業別実績 [連結]

		FY2018	FY2019				(単位：百万円)	
		通期実績	通期実績	前年度比	前年度比%	為替控除後	%	1月31日 公表値
売上高	ポジショニング	77,722	73,989	△3,733	△5%	76,072	△2%	76,000
	スマートインフラ	36,744	33,398	△3,346	△9%	33,807	△8%	34,500
	アイケア	47,713	44,758	△2,955	△6%	46,163	△3%	50,000
	その他	1,698	1,319	△379	△22%			1,500
	消去	△15,190	△14,549	641				△15,000
	合計	148,688	138,916	△9,772	△7%	142,505	△4%	147,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	8,358 (10.8%)	4,537 (6.1%)	△3,821	△46%	4,683	△44%	6,000 (7.9%)
	スマートインフラ	6,393 (17.4%)	5,027 (15.1%)	△1,366	△21%	5,245	△18%	5,100 (14.8%)
	アイケア	2,896 (6.1%)	136 (0.3%)	△2,760	△95%	872	△70%	3,000 (6.0%)
	その他	△65	△144	△79	-			0
	調整	△3,986	△4,175	△189				△4,100
	合計	13,596 (9.1%)	5,381 (3.9%)	△8,215	△60%	6,515 (4.6%)	△52%	10,000 (6.8%)

FY2019 増減益分析 (営業利益ベース:前年度比)

(単位: 億円)



I. 2020年3月期 決算報告

I-1. 2020年3月期 決算報告

I-2. 事業別の状況

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019					
	通期実績	通期実績	前年度比	%	為替控除後	%	公表値
売上高	77,722	73,989	△3,733	△5%	76,072	△2%	76,000
営業利益 (営業利益率)	8,358 (10.8%)	4,537 (6.1%)	△3,821	△46%	4,683 (6.2%)	△44%	6,000 (7.9%)
為替 換算レート	USD 110.69 円	109.10 円	△1.59 円				
	EUR 128.43 円	121.14 円	△7.29 円				

■ FY2019の業績要因分析

- ICT自動化施工
 - OEM：下期以降販売が急減速
 - アフターマーケット：欧米で販売堅調
- IT農業 年間を通して低調も
OEMでやや底打ち感

■ 新型コロナ影響

(単位：億円)

	4Q実績	コロナ 影響額	コロナ 控除後	公表値
売上高	214	△22	236	235
営業利益 (営業利益率)	21 (9.9%)	△13	34	36 (15.3%)

- ・ 欧米におけるロックダウンが繁忙期を直撃
- ・ 制限下においてもEssential Business
(必須事業)として事業活動継続

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019					
	通期実績	通期実績	前年度比	%	為替控除後	%	公表値
売上高	36,744	33,398	△3,346	△9%	33,807	△8%	34,500
営業利益 (営業利益率)	6,393 (17.4%)	5,027 (15.1%)	△1,366	△21%	5,245 (15.5%)	△18%	5,100 (14.8%)
為替 換算レート	USD 110.69 円	109.10 円	△1.59 円				
	EUR 128.43 円	121.14 円	△7.29 円				

■ FY2019の業績要因分析

- ・ 国内：国土強靱化や災害復興需要、
i-Construction普及が追い風
となり販売好調持続
- ・ 中国／アジア：
米中貿易摩擦と選挙影響により
年間を通し需要・販売が低迷

■ 新型コロナ影響

(単位：億円)

	4Q実績	コロナ 影響額	コロナ 控除後	公表値
売上高	97	△12	109	108
営業利益 (営業利益率)	20 (21.1%)	△6	26	21 (19.6%)

- ・ 国内：営業活動に一部制約を受けるも、
現場稼働で販売への影響は軽微
- ・ 中国：旧正月以降停滞した事業活動は
3月後半より回復傾向

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019					
	通期実績	通期実績	前年度比	%	為替控除後	%	公表値
売上高	47,713	44,758	△2,955	△6%	46,163	△3%	50,000
営業利益 (営業利益率)	2,896 (6.1%)	136 (0.3%)	△2,760	△95%	872 (1.9%)	△70%	3,000 (6.0%)
為替 換算レート	USD 110.69 円	109.10 円	△1.59 円				
	EUR 128.43 円	121.14 円	△7.29 円				

■ FY2019の業績要因分析

- スクリーニングビジネス：
新規顧客開拓で順調に進捗
- 中国向け販売伸長
- 先行投資継続

■ 新型コロナ影響

(単位：億円)

	4Q実績	コロナ 影響額	コロナ 控除後	公表値
売上高	108	△52	160	161
営業利益 (営業利益率)	△7	△27	20	21 (13.3%)

- ロックダウンにより中・米・欧で販売激減
 - 医療機関への営業活動や納品が停止
 - 眼鏡店が閉鎖、需要先送り
- 国内：3月販売への影響は限定的

Ⅱ. 今後の見通しについて

Ⅱ-1. FY2020見通し

Ⅱ-2. 第三次中期経営計画への影響

■ 通期業績予想

新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況下、合理的な業績予想の算定が困難であるため、2021年3月期の通期連結業績予想は未定とする。今後の動向によるが、7月末の第1四半期決算発表時に公表の予定。

■ 新型コロナへの対応基本方針

- ・ 企業の持続可能性の観点から、社員の雇用維持を重視
- ・ 社員の健康、安全、感染防止を重視
各国でテレワーク体制（80%以上遂行）

4月の事業別状況

セグメント	販売状況および展望
ポジショニング	4月の売上は前年比25%程度のマイナス。主力市場の米国ではロックダウンの影響はあるが健闘。一方、欧州は米国と比べ、より大きな影響を受けている。両地域ともEssential Businessである建設分野へのインパクトは限定的で、今後の規制解除に伴い業況の回復が期待出来る。ウェイトは高くないものの、中国は前年比プラス。IT農業についてはOEMを中心に堅調。
スマートインフラ	4月の売上は前年比1割程度のマイナス。国内は一部大手ゼネコンの操業が停止したがGW後には再開、公共工事を中心にコロナ影響は限定的。東南アジアやインドはロックダウンの影響が継続、一方、中国は営業活動正常化、韓国でも商談が動いている。ポジショニング同様、規制解除に伴う需要回復、更にコロナ収束後を見据えた経済復興需要に期待。
アイケア	4月の売上は前年比半減。欧米ではロックダウンによる眼鏡店閉鎖の影響が大きく、医療機関向けの営業及びデリバリーも多くの地域で停止している。一方で欧州でソーシャルディスタンスのニーズにマッチしたりリモート検眼機の大口商談が成約、中国事業も回復基調。週次で見ると売上は4月第一週をボトムに回復傾向。業況は3~6か月後に本格回復する可能性があるともみているが、慎重に見極める。

■ 損益改善の施策

- ・ 短期的な売上減を考慮し経費削減
販管費削減、役員報酬減額、一時帰休など
- ・ 研究開発費はポストコロナを見据え取捨選択し削減
- ・ 設備投資の抑制

■ 資金調達力の強化

- ・ ポストコロナを見据え、運転資金・成長資金の確保のため、資金調達力を増強

コミットメントライン	220億円から420億円へ倍増
コマーシャルペーパー	CP格付新規取得済み（R&I：a-1）
社債	300億円発行登録済 （※発行済200億円とは別途）

■ 株主還元方針

- ・ 配当性向は35%以上を維持

Ⅱ. 今後の見通しについて

Ⅱ-1. FY2020見通し

Ⅱ-2. 第三次中期経営計画への影響

第三次中期経営計画 (2019年度 - 2021年度)

経営
ビジョン

医・食・住の成長市場において 社会的課題を解決し事業を拡大する

- ・ 時間軸への影響は不可避も**ビジョンは不変**
- ・ 成長シナリオに**追い風**

新キーワード

ソーシャル
ディスタンス対応

Essential
Business

経済復興

社会的課題は不変、中期成長シナリオに追い風

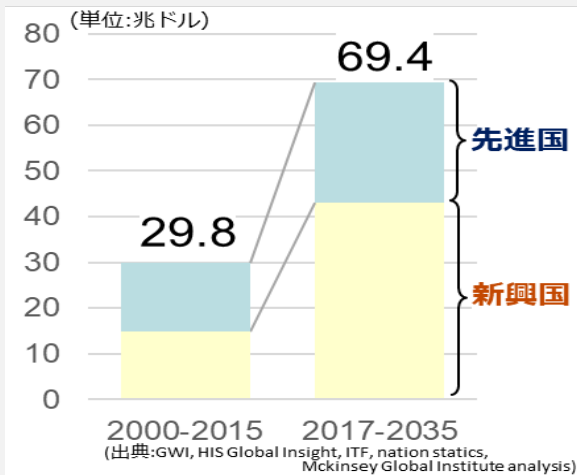
- 建設分野における新型コロナのインパクトは限定的
- **経済復興**に不可欠なインフラ投資増加 → 深刻な労働力不足 → 自動化に追い風

社会的課題

✓ 熟練技能者の不足



✓ インフラ需要の高騰



成長シナリオ

建設工事の工場化!

建機のロボット化と
ワークフローの一元管理による

生産性向上
人手不足解消



具現化

トプコンの独自技術

① ICT自動化施工技術

▶ 精密GNSS活用による建機の自動化システム

② 3次元計測技術

▶ 工事のワークフローを一元管理できるセンサーデジタイゼーション

ICT自動化施工技術



3Dプリンタロボット

3次元計測技術



地上型測量機



空中写真測量

社会的課題は不変、中期成長シナリオに追い風

- Essential Business(必須事業)としての堅確なニーズ
- 移動制限による労働力不足は自動化に追い風

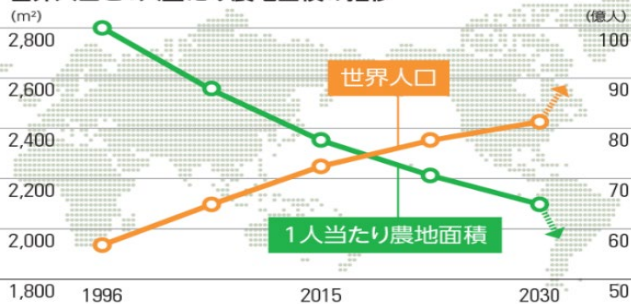
社会的課題

- ✓ 食糧不足
- ✓ 高齢化/熟練者の減少



- ✓ 世界的な人口増加
- ✓ 1人当たり農地面積減少

世界人口と1人当たり農地面積の推移



出典: FAO(Food and Agriculture Organization of the United Nations) 資料より当社作成

成長シナリオ

農業の工場化!

農機の自動運転やデータの一元管理による

生産性向上
品質向上



具現化

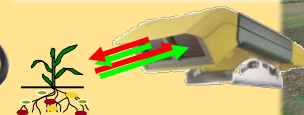
トプコンの独自技術

- ① IT農業機器
 - ▶ 精密GNSSの活用による農機の自動化システム
- ② 光学センサー技術
 - ▶ 生育・収量センサーで デジタイゼーション

IT農業機器



光学センサー技術



農機の自動運転システム

レーザー式生育センサー

社会的課題は不変、中期成長シナリオに追い風

- 短期的には甚大な影響も眼疾患の増加は不変
- ソーシャルディスタンス対応の新ニーズに当社フルオート機能が完全に合致

社会的課題

✓ 眼科医の不足

かかりつけ医	200万	(全世界数)
眼鏡店/ ドラッグストア/ 検診施設	100万	
眼科医	20万	

急増する眼疾患
に対応する
眼科医の不足

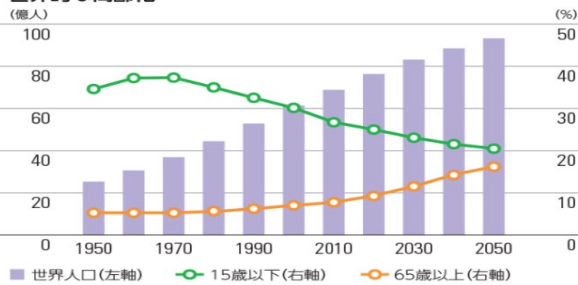
✓ 医療費の増大

✓ 世界的な高齢化

✓ 眼疾患の増加

▶ 三大眼疾患: **3.5億人** (2020年)^{*1}

世界的な高齢化



出典: United Nations 2010 Report

*1 出典: Market Scope, Global Prevalence and Major Risk Factors of Diabetic Retinopathy (2012)

成長シナリオ

眼疾患スクリーニングを創出!
かかりつけ医・眼鏡店・ドラッグストア等の活用による

※日本においては 医師不在の眼鏡店等は対象外



早期発見
早期治療
医療効率向上

具現化

トプコンの独自技術

○ **フルオートスクリーニング機:**
▶ 専門性を要さない容易な操作を実現



- 3D OCT Maestro**
- フルオートで3次元眼底像/断層撮影
 - 3大眼疾患の可能性を示唆するレポート機能



- TRC-NW400**
- フルオートで眼底像撮影
 - 3大眼疾患の早期発見

※ スクリーニング: 検査によって疾患の有無を判別すること。

Ⅲ.ポストコロナを見据えた 事業別注力事項

- ICT自動化施工：経済復興に不可欠なインフラ投資増加
- IT農業：移動制限による労働力不足は自動化に追い風



商機拡大

トピックス

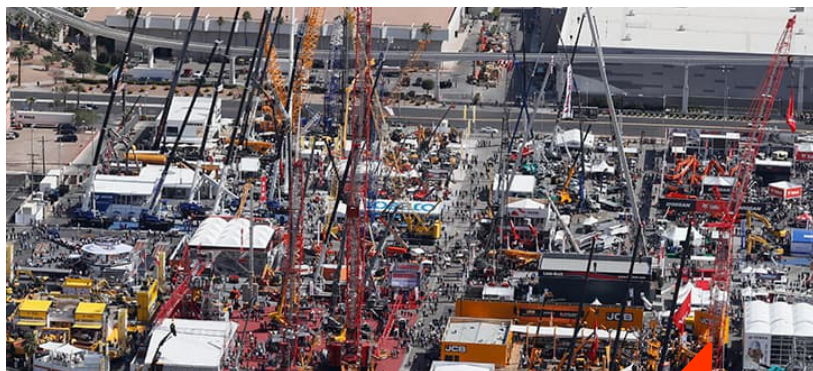
CONEXPO 2020 成功裏に終了



米国最大の建機展示会
(3年毎に開催)

開催時期：2020年3月
来場者数：約13万人
出展社数：約2,200社

新型コロナの影響で会期が1日短縮も前回は上回る受注獲得



外観



展示ホール

新製品
リリース

15種以上の新製品投入



当社ブース



自動ショベルシステム



チルトバケット対応



タブレット用
モバイルMCアプリ

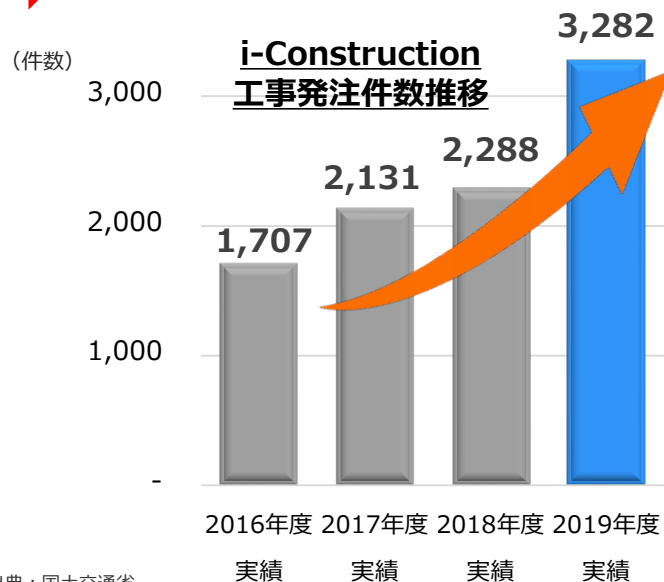
国内建設市場

- 国土強靱化、災害復興関連工事で底堅い公共土木工事需要が継続
 - 緊急事態宣言で先送りされた需要の確実な取り込み
 - 技術者不足を補うICT化(i-Construction)の加速

i-Construction普及加速

- ✓ 施行5年目に突入
- ✓ i-Con発注件数 大幅増加

➡ **引き続きICT化市場は拡大**



国土強靱化計画

(3カ年緊急対策：2018年12月14日閣議決定)

- ✓ 事業規模は3年間で約7兆円

➡ **国内インフラ市場拡大に追い風**

公共土木工事需要が継続



河川堤防強化等の緊急対策



道路法面強化等の緊急対策

出典：国土交通省

- 短期的には甚大な影響も、眼疾患の増加は不変
→ スクリーニングビジネス創出・推進に追い風
- **ソーシャルディスタンス対応の新ニーズに当社フルオート機能が完全に合致**

スクリーニングビジネス拡大

中期
経営計画

フルオート技術

デジタル技術



ポストコロナ対応

リモート技術



ニーズ
急浮上

フルオート機器を持つ強みを生かし、リモート対応の開発を優先的に加速させ、新規ニーズを確実に取り込む

【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

住

Infrastructure

医

Healthcare

食

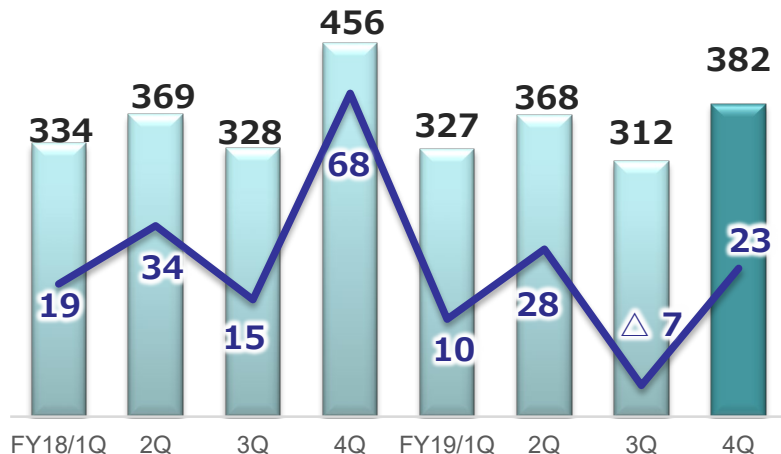
Agriculture

IV. 参考資料

四半期別業績推移

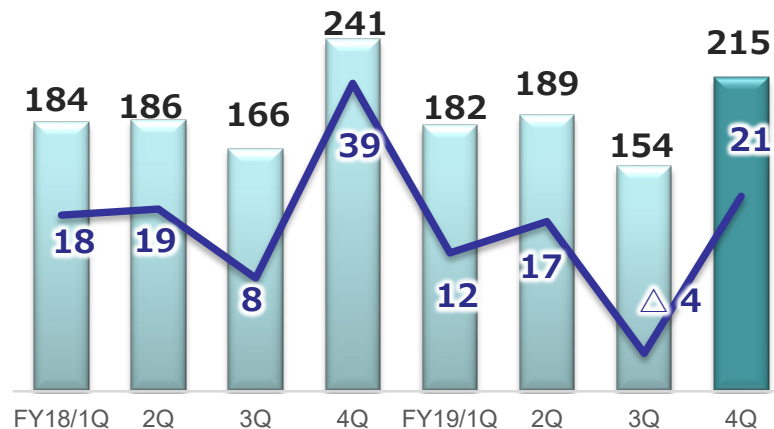
■ 全社

売上高 営業利益 (単位: 億円)



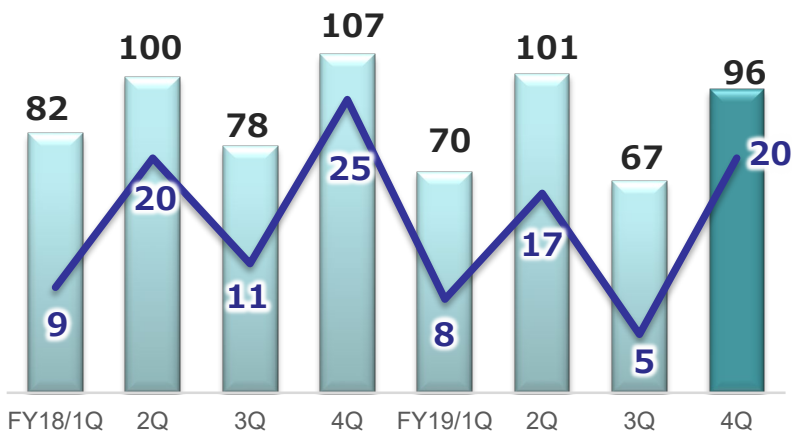
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位: 億円)



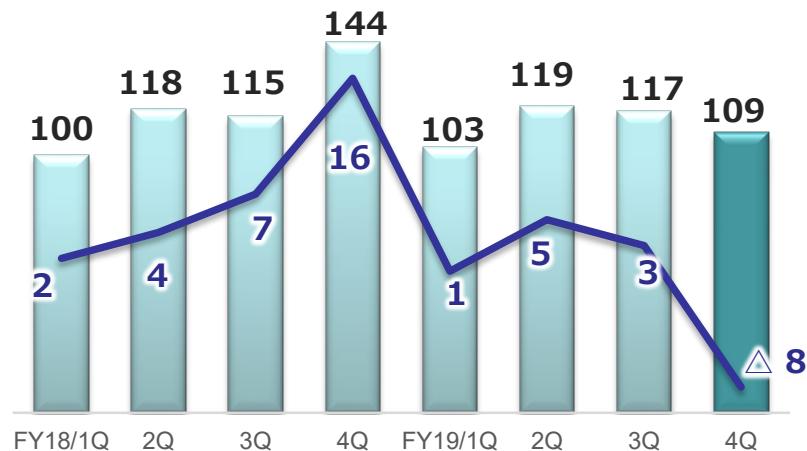
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)



■ アイケア・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)



年間業績推移

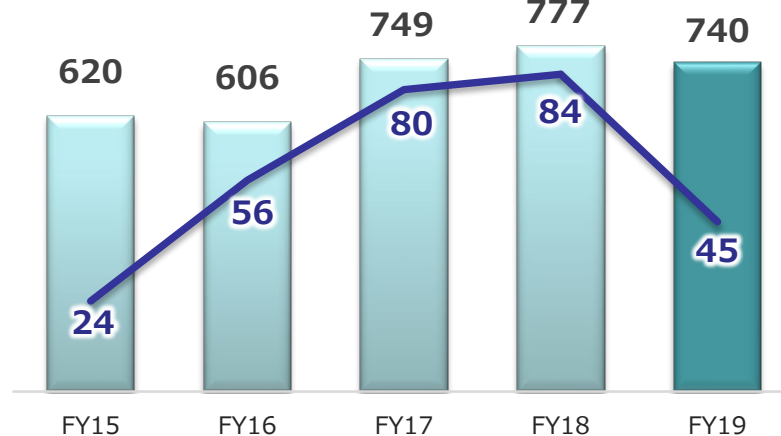
■ 全社

売上高 営業利益 (単位: 億円)



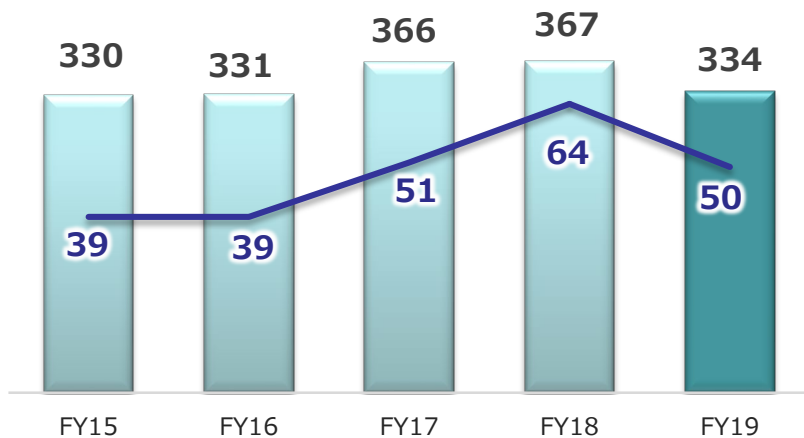
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位: 億円)



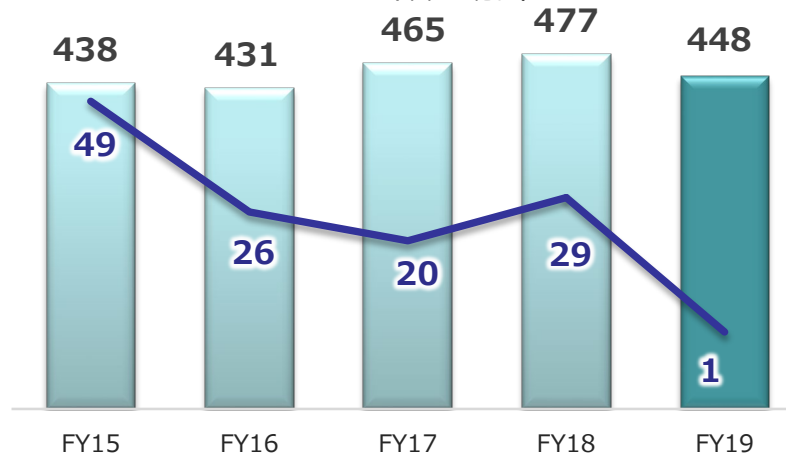
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)



■ アイケア・ビジネス

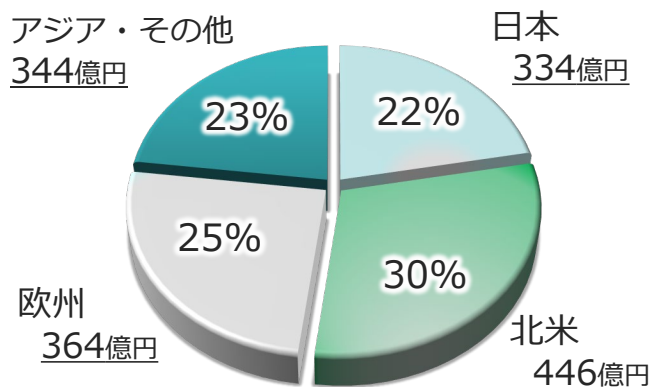
売上高 営業利益 (単位: 億円)



地域別売上高

FY2018/通期

1,487億円

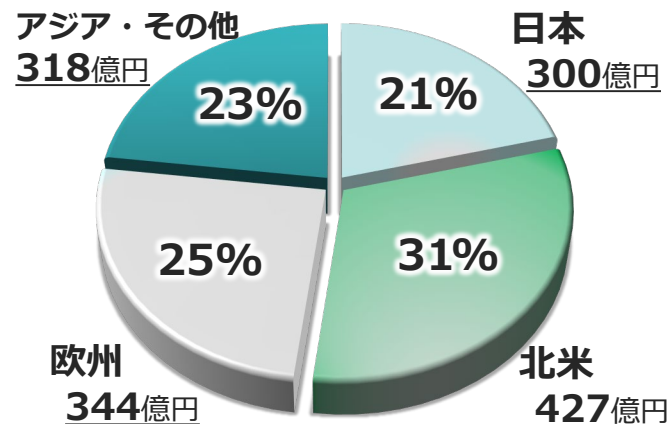


前年比
 $\triangle 7\%$



FY2019/通期

1,389億円

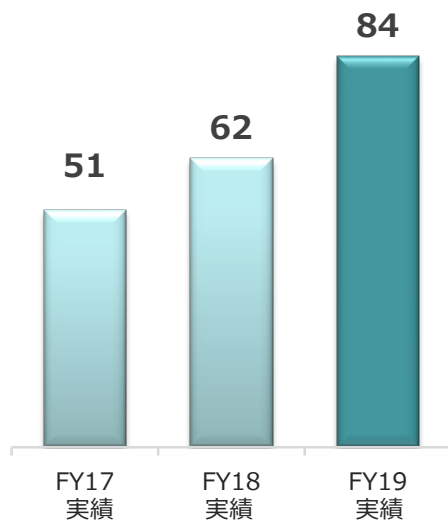


FY2019 設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

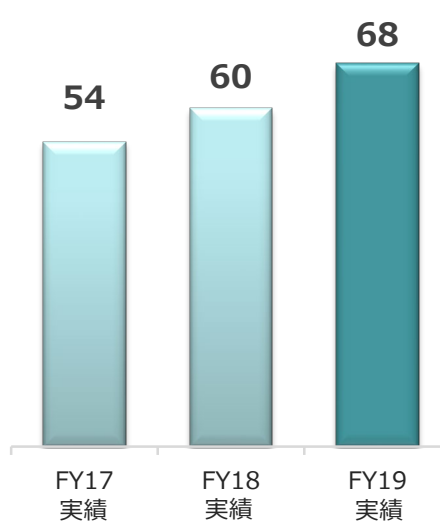
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

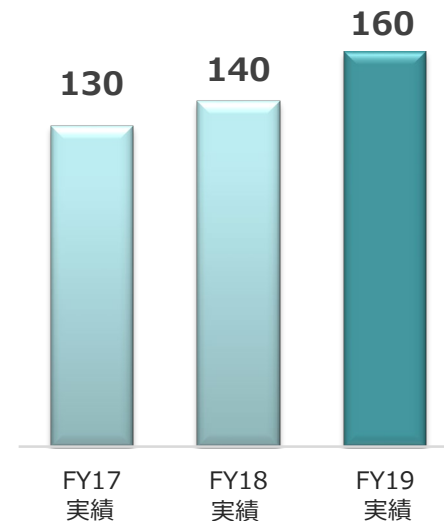
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度 (1円の変動による影響額)

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>